

予算審査特別委員会

総括質疑

熊谷 善行 議員

問 平成27年度の子育て応援給付金の効果と評価について聞く。

答 現金の支給については、多くの町民に喜ばれている。

アンケートの中で「半分以上が貯蓄に回っている」と回答されたのは、今後の子育てのことを想定しながらと考えている。

櫻井 一隆 議員

問 食材供給センターを改修して郷土館の展示施設にすることについて設計図はできているのか。身体障がい者の対応は考えているか。

答 レイアウトについては現在協議中であるが二階を展示施設にする構想である。

障がい者用対策として、簡易エレベータの設置を考えている。

議案第30号
「標茶町国民健康保険
税条例の一部改正」案
が否決

今年度の国保加入者の所得が全体として、増えたことにより国からの交付金等が減額され、その結果、本年度の国保会計に1億536万円の不足額が予測されました。この不足額のうち7,500万円は一般会計から繰り入れるが、なお不足する分3,036万円を国保加入者に負担してもらおうというものです。

これにより、国保税が現行から平均9.2%が引き上げられるという内容の提案でしたが、議会はこれを否決し、国保税は現行どおりとなりました。

議案第30号
「標茶町国民健康保険
税条例の一部を改正す
る条例の制定」に
対する
反対討論

反対討論 本多 耕平 議員

標茶町国民健康保険条例一部改正条例制度に私は反対の立場で意見を述べます。

先般の議員協議会に於いて国民健康保険事業28年度の収支バランス見通しがマイナスであり一般財源からのルール外補てんには限界があり相互扶助の立場から条例の一部を改正し安定した保険事業との説明提示がなされた。

町民の命を守る最も大事な行政としての事業であり健全な事業運営を願う事は全ての町民が思い願っている事であるが今回の提案のあり方更に平成27年度の保険事業専決を5月の臨時会で可決しましたが、ここに至るまでの事務手続きに問題があるとは言え28年度の事業会計見通しは事前に予想されなければならぬ公平な税負担とは言え、打開策として税改正による負担しかないのかもっと議論をすべきと思う。

28年度事業会計見通し30年には広域化を考える時又町民に事業内容を理解してもらおう為にも税改正ありきではなく十分な討議、検討すべきと考える。

反対討論 深見 迪 議員

今回の国保税の改定1億536万円の税収不足の試算に基づいて提案されたものです。この不足額に対し、一般会計からの7,500万円の繰り入れは高く評価致します。

しかしなお不足する分3,036万円について国保税の住民負担が増額するという案は家計を大きく圧迫する結果となります。

町のシュミレーションを見ても、年収約320万円の4人家族では、所得階級250万円以下の世帯になり、年間25,683円、月にして2,140円の負担増となります。

本町には、備荒資金26億円を超える超過積み立て分、財政調整基金約18億円を合わせると約44億円超の積立金があります。この約0.7%を使えば値上げしなくても十分間に合います。

国保は、住民の医療を守る最後の社会的セイフティーネットです。

そもそも国保税がこれほどの重い負担となっているのは、政府が国庫支出金を大幅に減らしたことにあります。この復元を政府に強く求めることが必要であることを付け加えて、私の反対討論いたします。